

2004年10月29日
株式会社日立製作所
株式会社東芝
松下電器産業株式会社

日立、東芝、松下がテレビ向け液晶パネル合弁会社 「株式会社 IPS アルファテクノロジー」設立に関する合弁契約締結

株式会社日立製作所（執行役社長：庄山 悦彦 / 証券コード：6501 / 以下、日立）、株式会社東芝（代表執行役社長：岡村 正 / 証券コード：6502 / 以下、東芝）、松下電器産業株式会社（代表取締役社長：中村 邦夫 / 証券コード：6752 / 以下、松下）及び日立の100%子会社である株式会社日立ディスプレイズ（取締役社長：米内 史明、以下、日立ディスプレイズ）の4社は、薄型テレビ向け液晶パネル製造及び販売の合弁会社を共同で設立することで2004年8月31日に基本合意しておりましたが、本日、合弁契約を正式に締結しました。

合弁会社の社名は「株式会社 IPS アルファテクノロジー」（以下、IPSアルファ）で、2005年1月1日発足を予定しています。また、その取締役社長を、株式会社日立ディスプレイズ取締役社長米内 史明（よない ふみあき）が兼務する予定です。

IPSアルファでは、日立ディスプレイズが世界をリードして開発してきたIPS方式（*）の液晶パネルを生産します。日立、東芝、松下及びIPSアルファは、セットメーカーとパネルメーカーとしての緊密な連携により相乗効果を発揮し、性能的にも價格的にもより競争力の高い液晶パネルや液晶テレビを提供していきます。*1

IPS方式：

IPSはIn-Plane-Switching(横電界)方式液晶の略称で、TFT液晶表示方式の一つです。IPS方式は、電圧がかかると液晶分子が基板と平行に回転するため、広視野角に加え、見る方向による色調変化や白から黒までの全階調での色調変化が少なく、上下左右170度の視野角のどこから見ても自然な画像が表示できる特徴があります。テレビや大型モニタ用途に改良したAdvanced Super-IPS(AS-IPS)方式では、従来のIPS方式の開口率を約30%向上させ、高輝度化を実現、更に独自の高色純度カラーフィルタ等を組み合わせることにより、色再現性も向上させています。*2

IPS アルファの概要

1. 会社名 : 株式会社 IPS アルファテクノロジー (英文 : IPS Alpha Technology, Ltd.)
2. 代表者 : 取締役社長 米内 史明 (よない ふみあき)
3. 発足日 : 2005 年 1 月 1 日
4. 資本金 : 600 ~ 700 億円
5. 出資比率 : 日立ディスプレイズ 300 ~ 350 億円 (50%)、東芝 150 億円 (21 ~ 25%)、
松下 150 億円 (21 ~ 25%)、その他 0 ~ 50 億円 (0 ~ 8%)
6. 所在地 : 千葉県茂原市
7. 事業内容 : アモルファス TFT 液晶パネルの製造、設計、販売、及びこれら事業に関連
する保守・サービス等
8. 設備投資額 : 約 1,100 億円
9. 生産品目 : 23 型以上のテレビ用アモルファス TFT 液晶パネル
10. 生産能力 : 32 型換算で年間 250 万台 (2008 年度下期に最大生産能力)

* 本文の * 1、* 2 の段落、および、上記「IPS アルファの概要」の 4 . 以下は 2004 年 8 月 31 日
発表の「日立、東芝、松下がテレビ向け液晶パネル合併会社設立で基本合意」リリースとの重複記
述になります。

以 上

このニュースリリースにおける将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
